

三重北医療センター いなべ総合病院 外科



【当院の理念】

三重県北西部の急性期中核病院として、地域医療の向上を目指して、安心、安全な医療を提供するとともに、事実裏付けられた最新かつ標準的外科治療を提供する

【当院の特色】

三重県に2つある関連病院のうちの一つで、岐阜県と滋賀県の県境が近く、地図で見るとかなり遠い印象ですが、大学から車で1時間以内であり、多くの先生が名古屋から通勤しています。内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻科、放射線科、小児科、産婦人科のいずれも名市大の医局からの派遣で、現在29人の常勤と8人の研修医が在籍しています。220床と中規模病院ではありますが、災害拠点病院、基幹型臨床研修指定病院、がん診療連携推進病院、卒後臨床研修評価機構の認定も受けており、現在初期研修医1年目4人、2年目4人の合計8人の研修医が在籍し、研修医に人気のある病院です。

同じ三重県厚生連の菰野厚生病院との診療連携を深めるため、前名市大消化器外科教授竹山廣光先生をセンター長としてお招きし、2017年4月より三重北医療センターを立ち上げ、2つの病院を一つにすることを目標に準備を進めております。現在の外科常勤医は名誉院長以下6名です。

名誉院長 水野草、院長 石川雅一、副院長 岡田 祐二、外科統括部長 角田直樹、外科部長 友田佳介、外科医員 杉田三郎

本年4月から杉田三郎先生が、当院での初期研修を終え、後期研修を当院外科でおこなっています。病院の施設認定は、日本外科学会専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設、日本消化器病学会専門医制度指定認定施設です。

昨年手術件数は、2016年のNCD登録274件、胃がん12例、大腸がん27例、胆石36例、ヘルニア52例です。胃がん・大腸がんに対しては積極的に腹腔鏡手術を導入し、特に大腸がんの約9割は腹腔鏡にて施行しています。友田佳介先生はヘルニアでの内視鏡技術認定を取得しており、その専門性を活かし、2017年4月からヘルニア外来開設し、腹腔鏡下ヘルニア手術を積極的に取り入れています。また竹山廣光先生センター長を中心に、腹腔鏡センターの設立を目指し、現在鋭意準備中です。

病床数	220床
手術件数 (2016年)	274件
日本内視鏡外科学会 技術認定医	2名
